

2003年第34週報告分

- ・発生動向総覧 / 調査票通信
- ・全数届出患者数一覧表
- ・定点報告疾病集計表
- ・疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- ・病原体検出情報(表・グラフ)
－手足口病－
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表
- ・保健所別定点当たり累計表

感染症豆知識

- ・食 中 毒

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



発生動向総覧（東京都） 34週分

（全数情報）

- ・細菌性赤痢が7件報告された。ソネ菌 3件（推定感染地：ミャンマー、国内、タヒチ）、フレキシネル菌 4件（ミャンマー、国内、インド、フィリピン）である。国内例2件の感染経路は不明である。
- ・腸チフスが1件報告された。推定感染地はネパールである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が8件報告された。血清型は8件ともO157で、VT2産生株2件、VT1 & VT2産生株5件、不明1件である。
- ・オウム病が1件報告された。推定感染地は国内である。飼育中のインコからの感染が疑われた。
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症が1件報告された。推定感染地は国内で感染経路は不明である。T-1型で壊死性筋膜炎・敗血症ショックを認めている。
- ・HIV感染症が10件報告された。無症候性キャリア5件、AIDS4件、その他1件で、推定感染経路は異性間性的接触1件、同性間性的接触5件、母子感染1件、不明3件である。母子感染例（AIDS）は4歳男児である。
- ・マラリアが1件報告された。三日熱マラリアで、推定感染地はタイ（バンコク）である。
- ・レジオネラ症が1件報告された。推定感染地は国内で、公衆浴場からの感染が疑われている。
(推定される感染地は医師の届出によるものです)

（定点情報）

- ・無菌性髄膜炎が増加した。

（病原体情報）

- ・発熱患者（生後8日）の便および咽頭拭い液、手足口病2名（2才児と9ヶ月児）の咽頭拭い液よりエンテロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・咽頭炎の3才児の咽頭拭い液、26才と35才の流行性角結膜炎患者の結膜拭い液よりアデノウイルスの遺伝子が検出された。
- ・頸部リンパ節炎・扁桃炎の3才児の咽頭拭い液より、アデノウイルスおよびEB（Epstein-Barr）ウイルスの遺伝子が検出された。
- ・11才の発疹症患者の咽頭拭い液よりEBウイルスの遺伝子が検出された。
- ・麻疹の1才児および2才児の咽頭拭い液より、麻疹ウイルスの遺伝子が検出された。
- ・発疹症を伴う急性脳症および脳炎の7ヶ月児の髄液より、ヒトヘルペスウイルス6型遺伝子が検出された。
- ・47才の出血性腸炎患者の便よりロタウイルス抗原が検出された。
- ・ヘルパンギーナの5才児の咽頭拭い液よりアデノウイルス4型が分離された。
- ・サイトメガロ感染症の疑いのある肝炎患者（3ヶ月児）の便からアデノウイルス3型が分離された。同患者の咽頭拭い液、便及び尿からサイトメガロウイルスの遺伝子が検出されている。

- ・菌株で搬入された溶血性レンサ球菌 1株は T- 1型、MRSA 2株はコアグラールゼ 型 1株、 型 1株であった。咽頭拭い液からはG群溶血性レンサ球菌が検出された。
- ・保健所などから搬入された血清 66件中 1件から梅毒特異抗体が、66件中 23件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・ヒトパピロ - マウイルス遺伝子が頸管拭い液 15件中 3件から検出された。

調査票通信 定点医療機関からのコメントを掲載

村山大和

- ・8歳児、発熱 39.7度。尿所見 (-)、CRP3.3、白血球数 21900。病名不詳、精査中。

全数届出患者数一覧表 2003年34週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		31週	32週	33週	34週	年累計	34週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クジラ・コンゴ出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	コレラ					2	1	12
	細菌性赤痢	2	2	1	7	64	17	292
	腸チフス				1	15		36
	パラチフス					4		22
	急性灰白髄炎							
	ジフテリア							
三類	腸管出血性大腸菌感染症	4	1	9	8	113	149	1483
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	2	2	4		76	2	322
	エキノコックス症							13
	黄熱							
	オウム病				1	1	1	34
	回帰熱							
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)		1	1		54		501
	Q熱					1		6
	狂犬病							
	クリプトスポリジウム症	1				4		5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2		1		11		74
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	5		40
	後天性免疫不全症候群	6	11	10	10	226	8	559
	コクシジオイデス症							1
	ジアルジア症		1			24	1	66
	腎症候性出血熱							
	髄膜炎菌性髄膜炎					3	1	15
	先天性風疹症候群							1
	炭疽							
	ツツガムシ病							134
	デング熱	1	1			10		21
	日本紅斑熱						1	22
	日本脳炎							
	乳児ポツリナス症							
	梅毒	4				48	1	309
	破傷風					3	2	43
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3		42
	ハンタウイルス肺症候群							
Bウイルス病								
ブルセラ症								
発疹チフス								
マラリア	1	2	1	1	22	3	52	
ライム病							4	
レジオネラ症		1	1	1	10		87	
ウエストナイル熱								

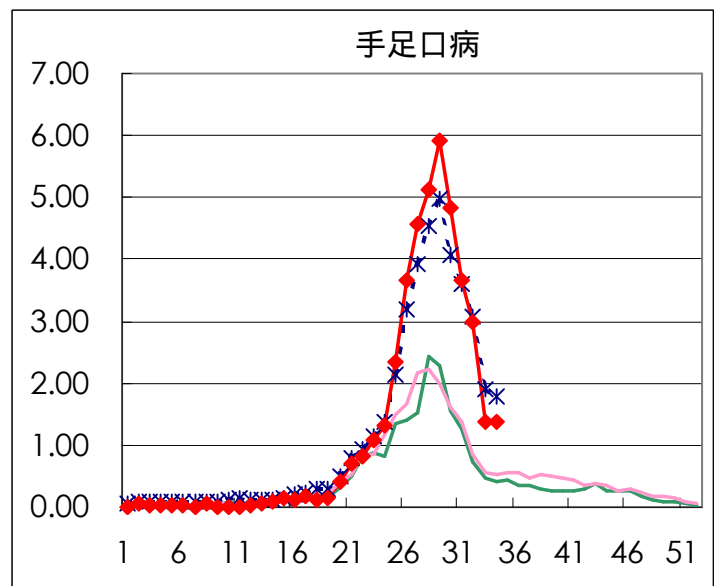
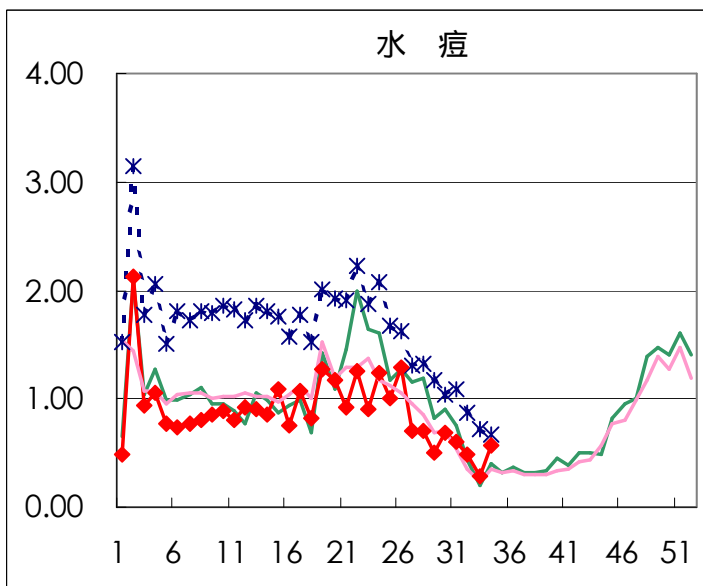
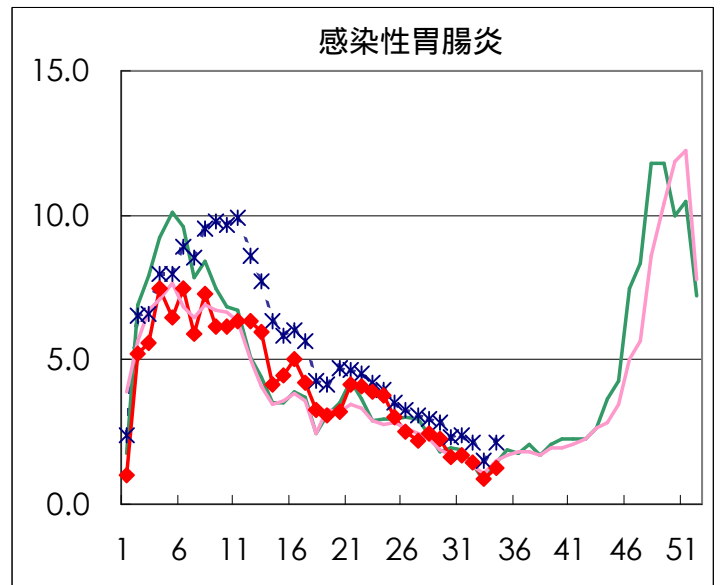
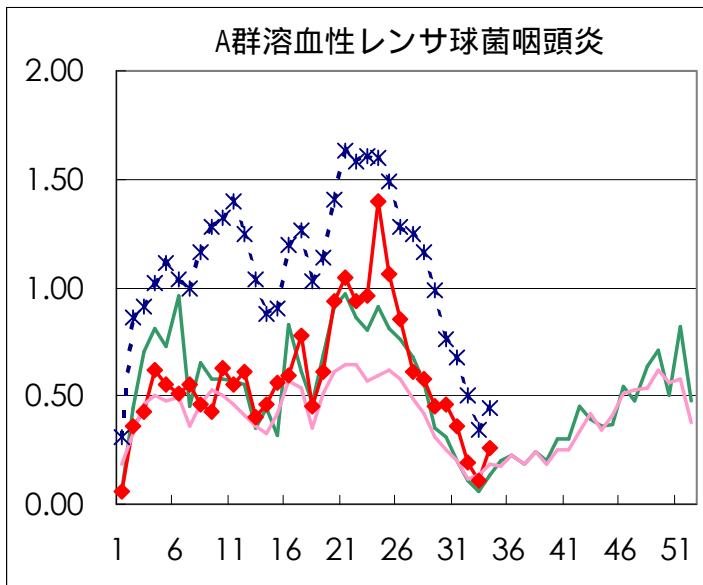
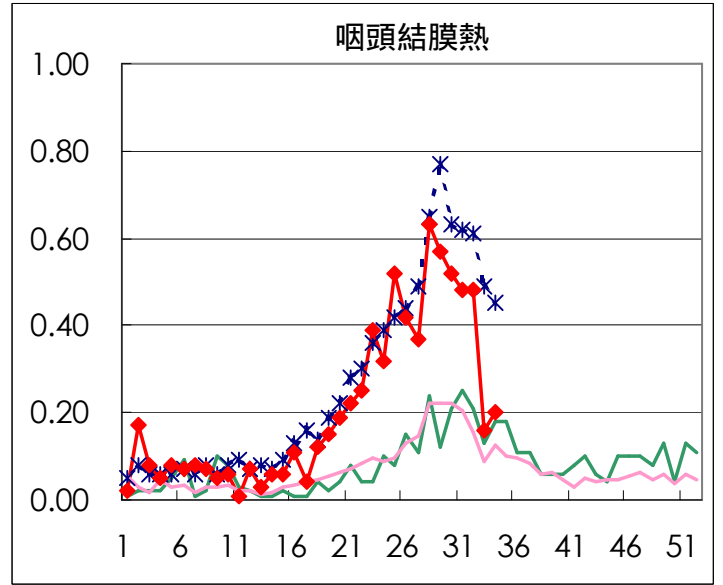
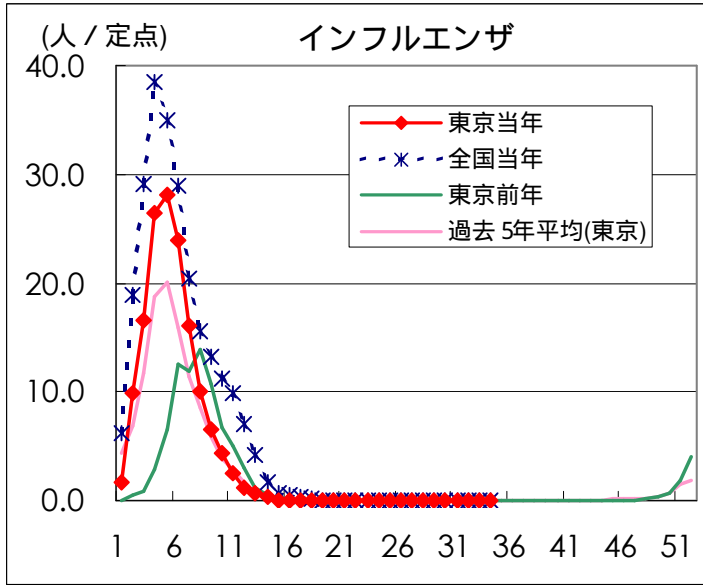
医師からの追加届出により増加することがあります(2003/09/01集計)

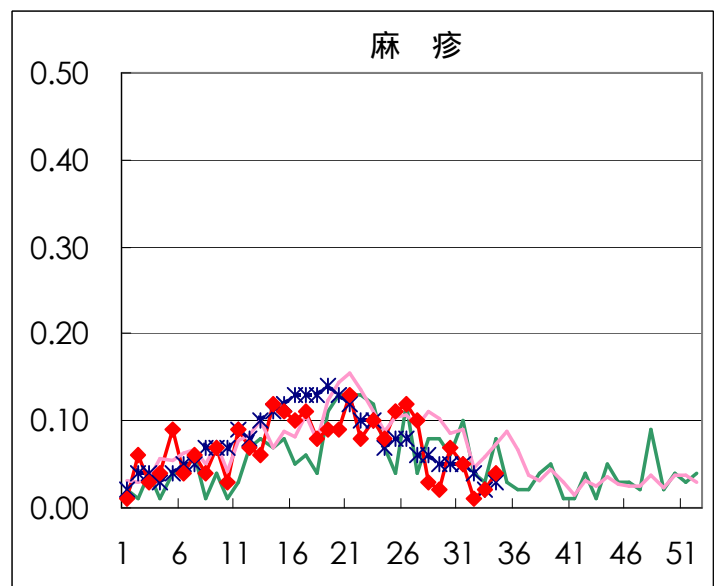
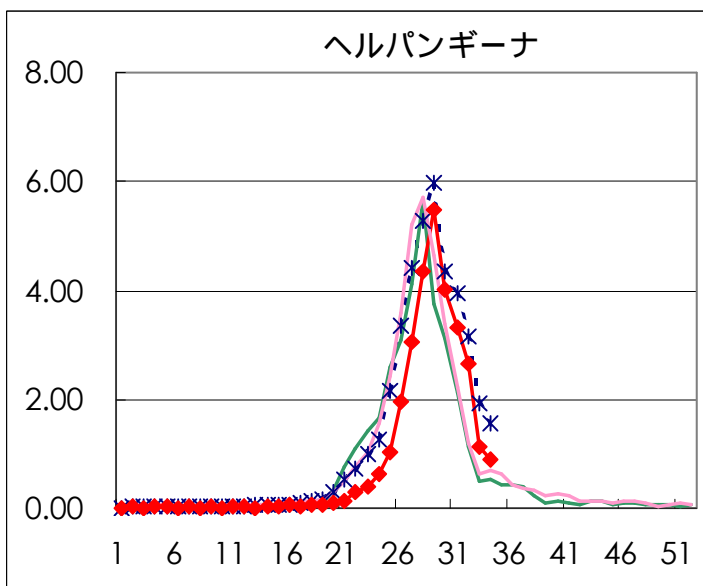
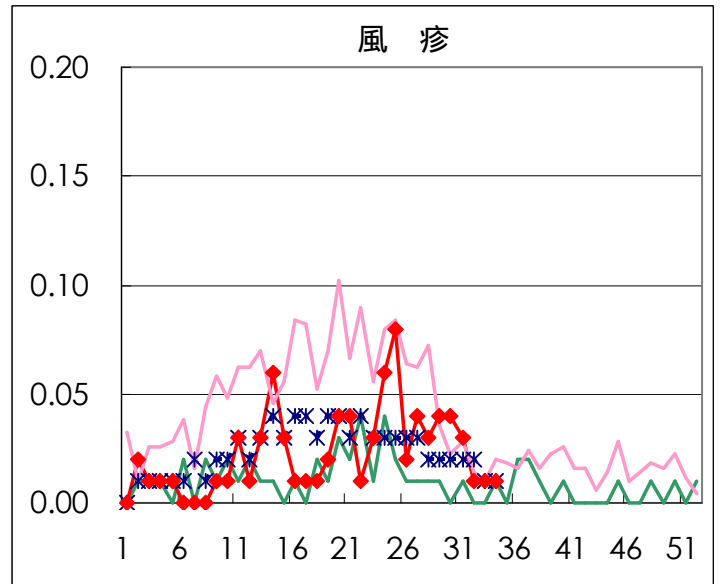
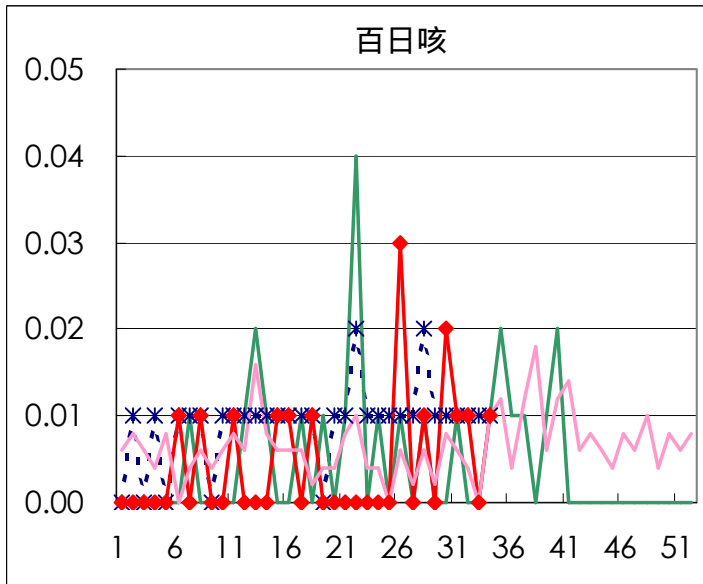
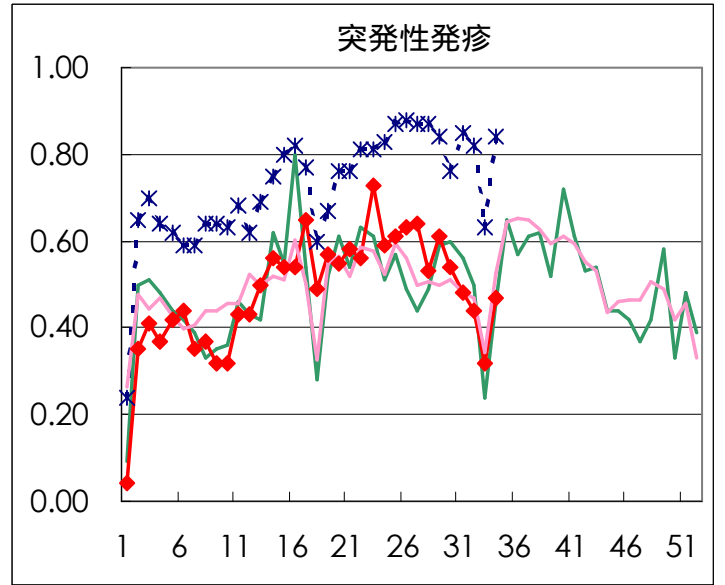
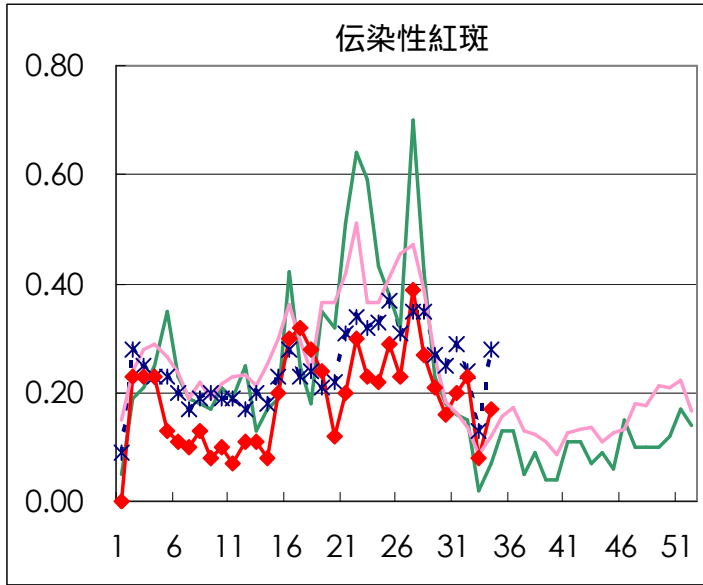
定点報告疾病集計表（男女別）

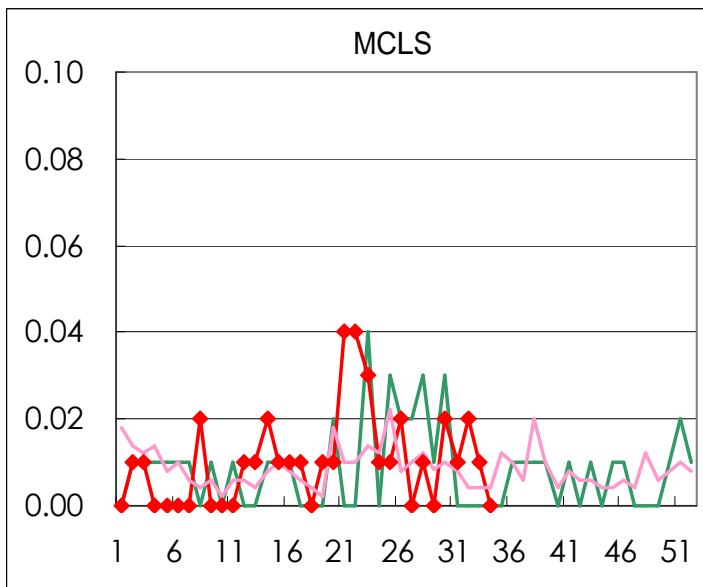
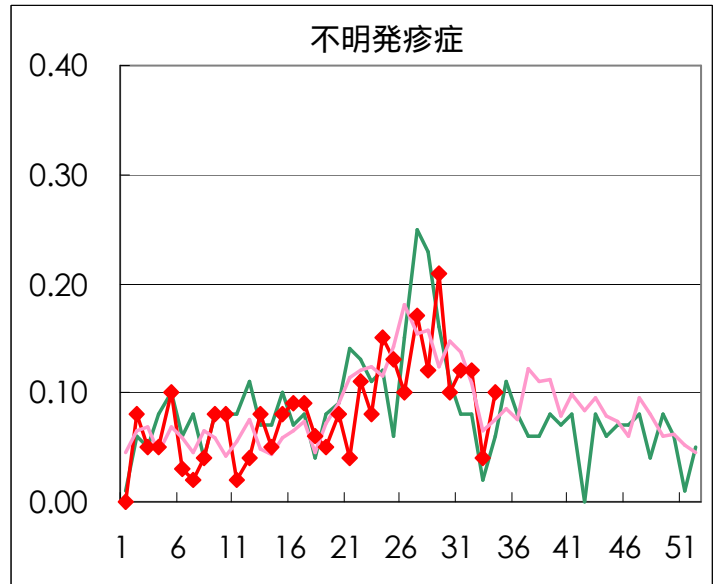
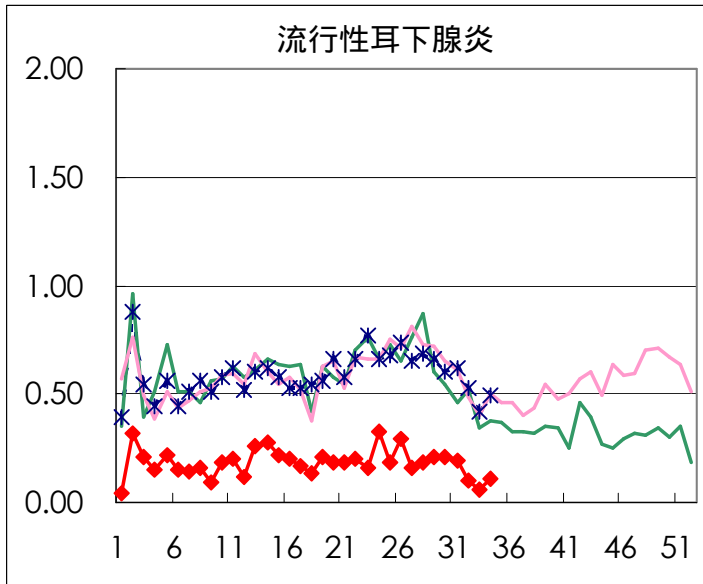
疾病名	性	2003年 週				4週合計	年累計
		31	32	33	34		
インフルエンザ	男						13,398
	女						13,078
咽頭結膜熱	男	38	45	16	15	114	563
	女	30	23	7	14	74	447
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	24	15	9	19	67	1,461
	女	27	12	6	18	63	1,313
感染性胃腸炎	男	128	101	66	92	387	10,273
	女	116	104	55	90	365	9,581
水痘	男	52	46	22	49	169	2,321
	女	34	23	18	32	107	1,968
手足口病	男	264	225	104	109	702	3,210
	女	256	198	93	85	632	2,672
伝染性紅斑	男	13	20	4	13	50	451
	女	15	13	8	11	47	451
突発性発疹	男	39	39	22	39	139	1,162
	女	29	23	24	28	104	1,164
百日咳	男	1	2		1	4	15
	女	1				1	5
風疹	男	2		1	1	4	53
	女	2	1		1	4	53
ヘルパンギーナ	男	250	196	75	63	584	2,235
	女	223	180	85	66	554	2,047
麻疹(成人以外)	男	4	2	3	4	13	172
	女	3			2	5	162
流行性耳下腺炎	男	15	8	4	8	35	509
	女	12	6	4	7	29	373
不明発疹症	男	8	9	2	4	23	197
	女	9	8	4	10	31	198
M C L S	男	1	3	1		5	23
	女			1		1	24
急性出血性結膜炎	男						8
	女						7
流行性角結膜炎	男	17	12	6	14	49	341
	女	7	5	7	8	27	235
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男						2
	女						1
細菌性髄膜炎	男						5
	女						6
無菌性髄膜炎	男		2	2	6	10	28
	女	2	2	1	3	8	15
マイコプラズマ肺炎	男	3	2		2	7	42
	女	5	1		1	7	43
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男	1				1	2
	女						
成人麻疹	男	1				1	75
	女	1				1	60

疾病別グラフ (四類定点週報告分)

小児科・インフルエンザ定点

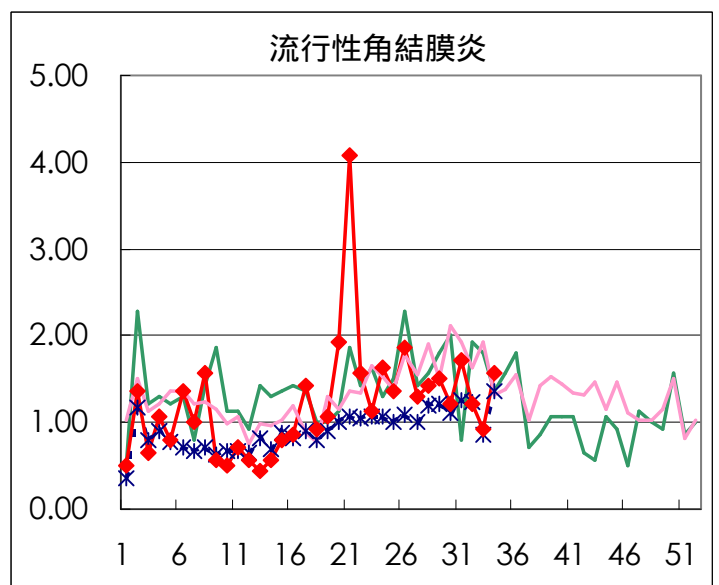
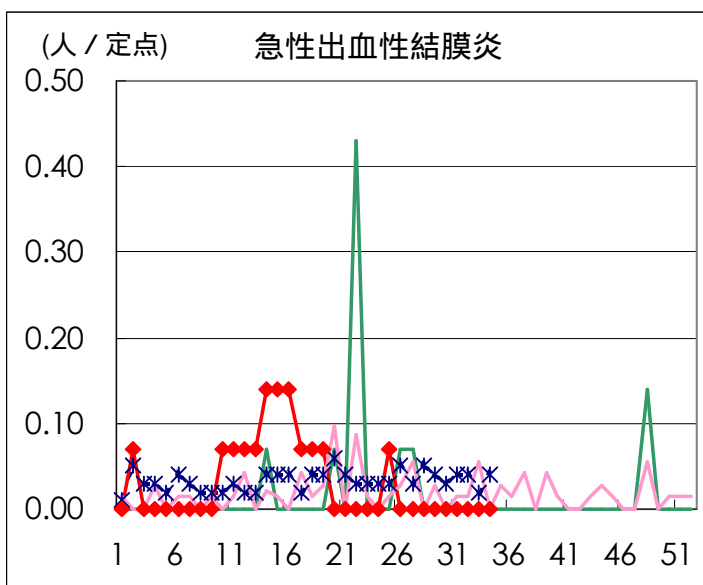




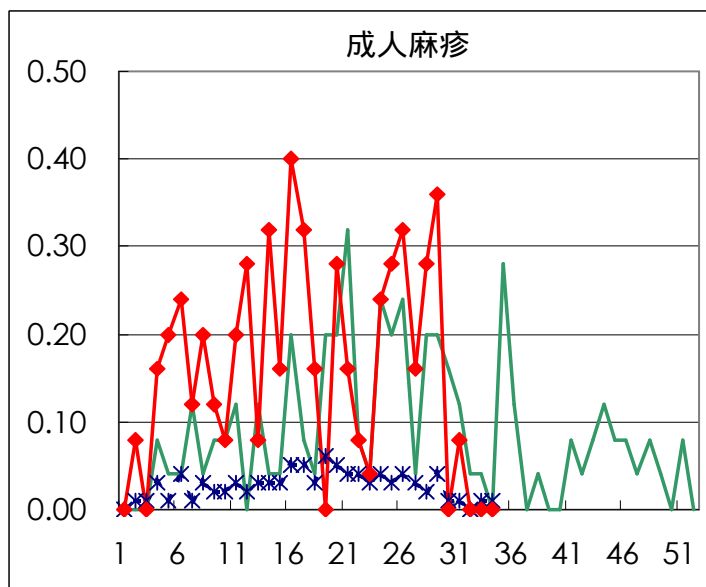
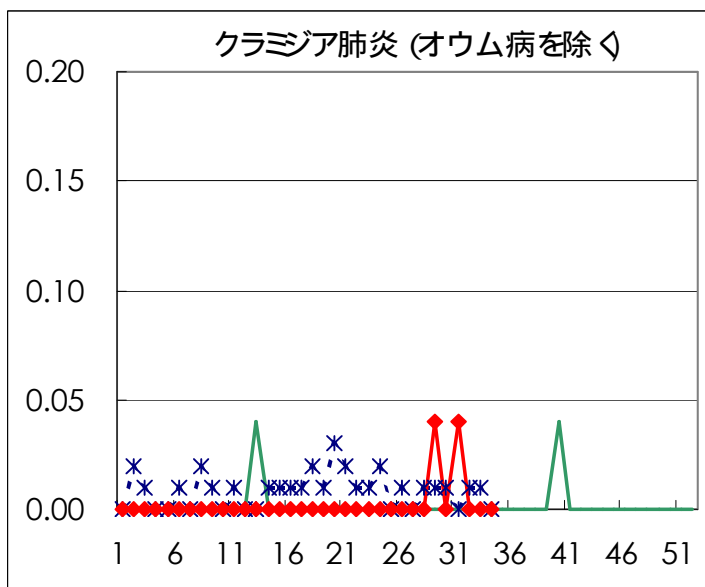
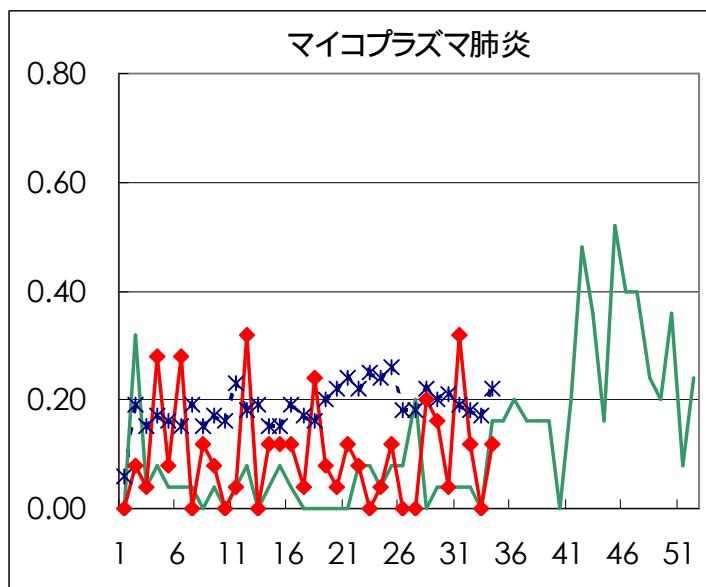
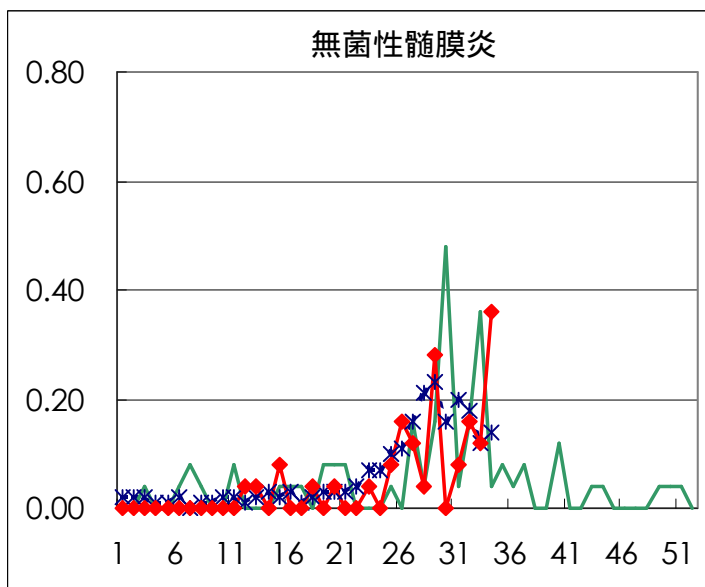
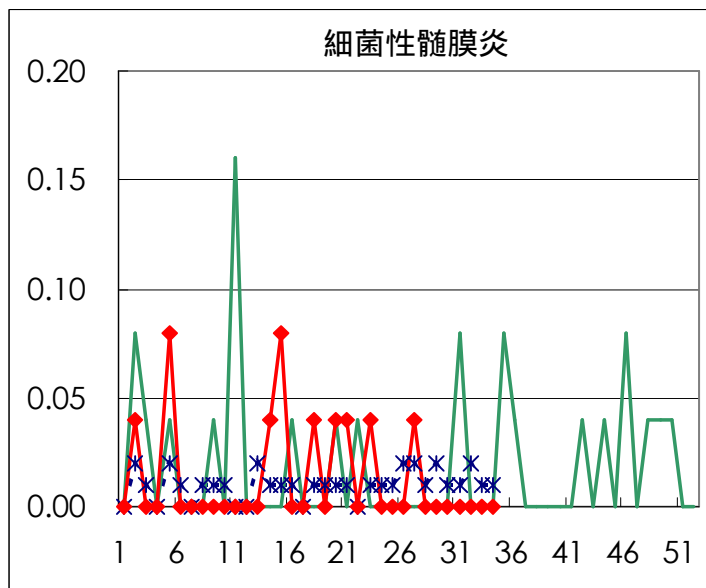
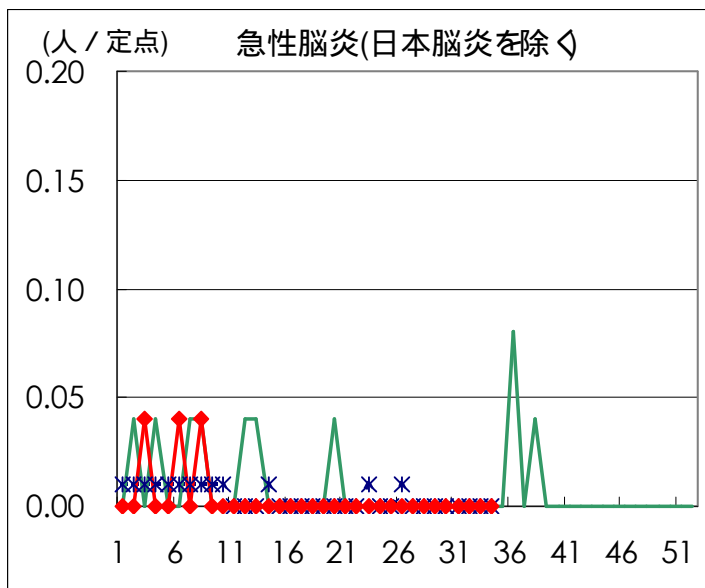


疾病別の定点医療機関数 (週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
小児科	成人麻疹	142
	上記を除く疾病	

眼科定点



基幹定点



病原体検出情報

週別病原体 抗体検出結果 (2003年 27~ 34週)

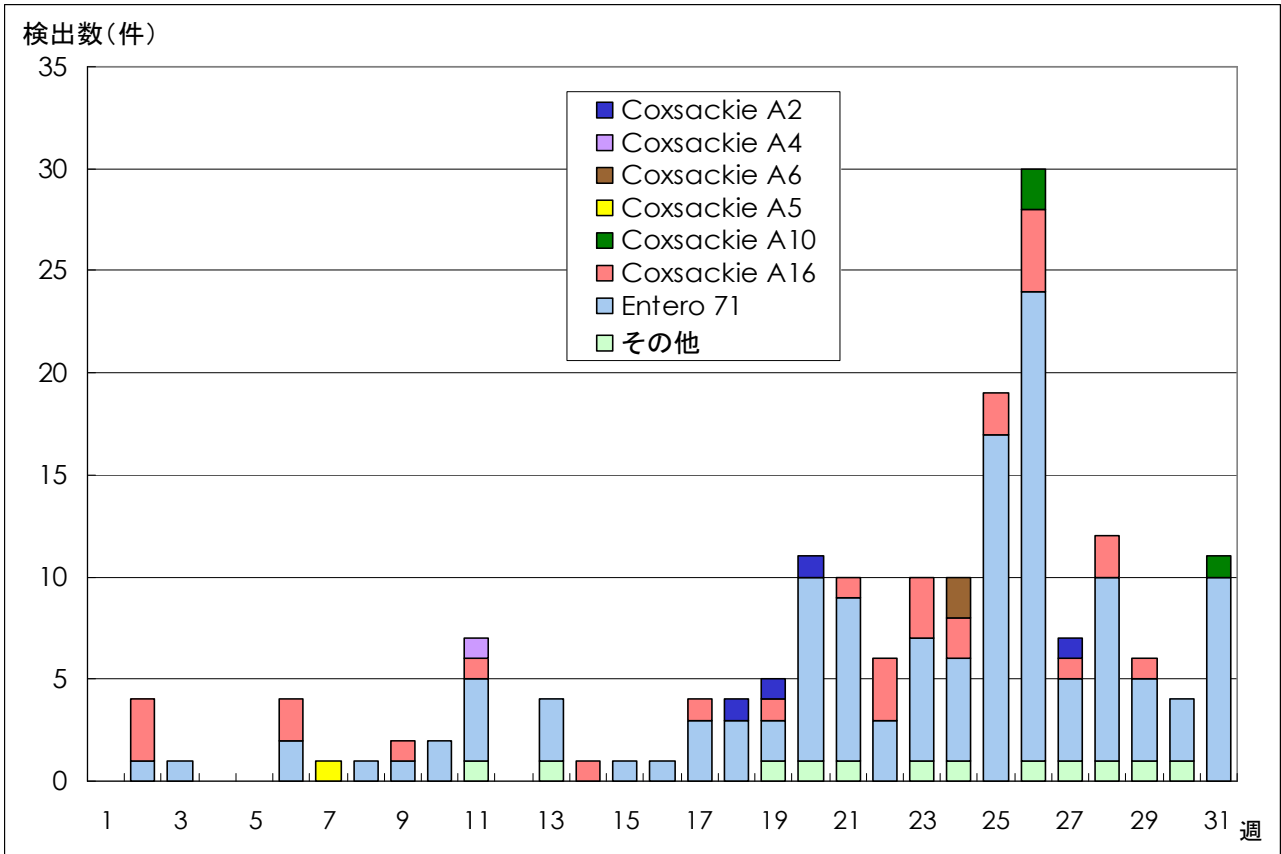
検出病原体 抗体		検体採取週								合計
		2003年								
		27	28	29	30	31	32	33	34	
ウイルス	インフルエンザAソ連型									
	インフルエンザA香港型									
	インフルエンザB型									
	RSV			1						1
	アデノ	2	5	4	5		4	3	4	27
	エンテロ	6	3	28	43	2	9	4	3	98
	ノーウォーク (RSV)	14								14
	ロタ			1					1	2
	単純ヘルペス									
	水痘 帯状疱疹									
	EBV	1			1	1			2	5
	CMV	1			1		1	1		4
	HHV6/7	2	3	3	3	3	2	2	1	19
	ムンプス		2							2
	麻疹	1		1	1				2	5
	パルボB19		1							1
	分離型別	ポリオ1								
		ポリオ2								
		アデノ1								
		アデノ2	2	1		1		1		5
		アデノ3	2	4		4		1		11
		エコー13								
		コクサッキー-A6								
	抗体	デング				2				2
		ツツガムシ								
	電顕									
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ									
	下痢原性大腸菌									
	エロモナス									
	O157									
	MRSAコアグララーゼ 型			1	1				1	3
	MRSAコアグララーゼ 型	3	2		3	2	3		1	14
	MRSAコアグララーゼ 型				1			1		2
	MSSAコアグララーゼ 型									
	溶連菌 T-1型	1			1				1	3
	溶連菌 T-3型									
	溶連菌 T-4型				1	1				2
	溶連菌 T-6型									
	溶連菌 T-12型	1	2		2	1		1		7
	溶連菌 T-22型									
	溶連菌 T-25型									
溶連菌 T-28型	1						1		2	
溶連菌 UT										
性感染症	梅毒	1	1	1					1	4
	クラミジア抗体	20	27	14	10	18	17	35	23	164
	クラミジア遺伝子	4	2		1	1	1	2		11
	淋菌遺伝子	2				2	2			6
	パピローマ		3	4	4	3	3	3	3	23

臨床診断名別病原体検出結果 (2003年 27~ 34週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (脳炎を 含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	球菌性咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他の	合計
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型																		
インフルエンザB型																		
RSV		1																1
アデノ		8	4			7				1		1					6	27
アデノ1																		
アデノ2		1	1									1					2	5
アデノ3		2	5							3							1	11
エンテロ		10	6			1	34	4	5	10		9					19	98
エコー 13																		
コクサッキー A6																		
ポリオ 1																		
ポリオ 2																		
ムンプス													2					2
ノーウォーク (SRSV)						14												14
ロタ						2												2
単純ヘルペス																		
水痘 帯状疱疹																		
パルボ B 19												1						1
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
下痢原性大腸菌																		

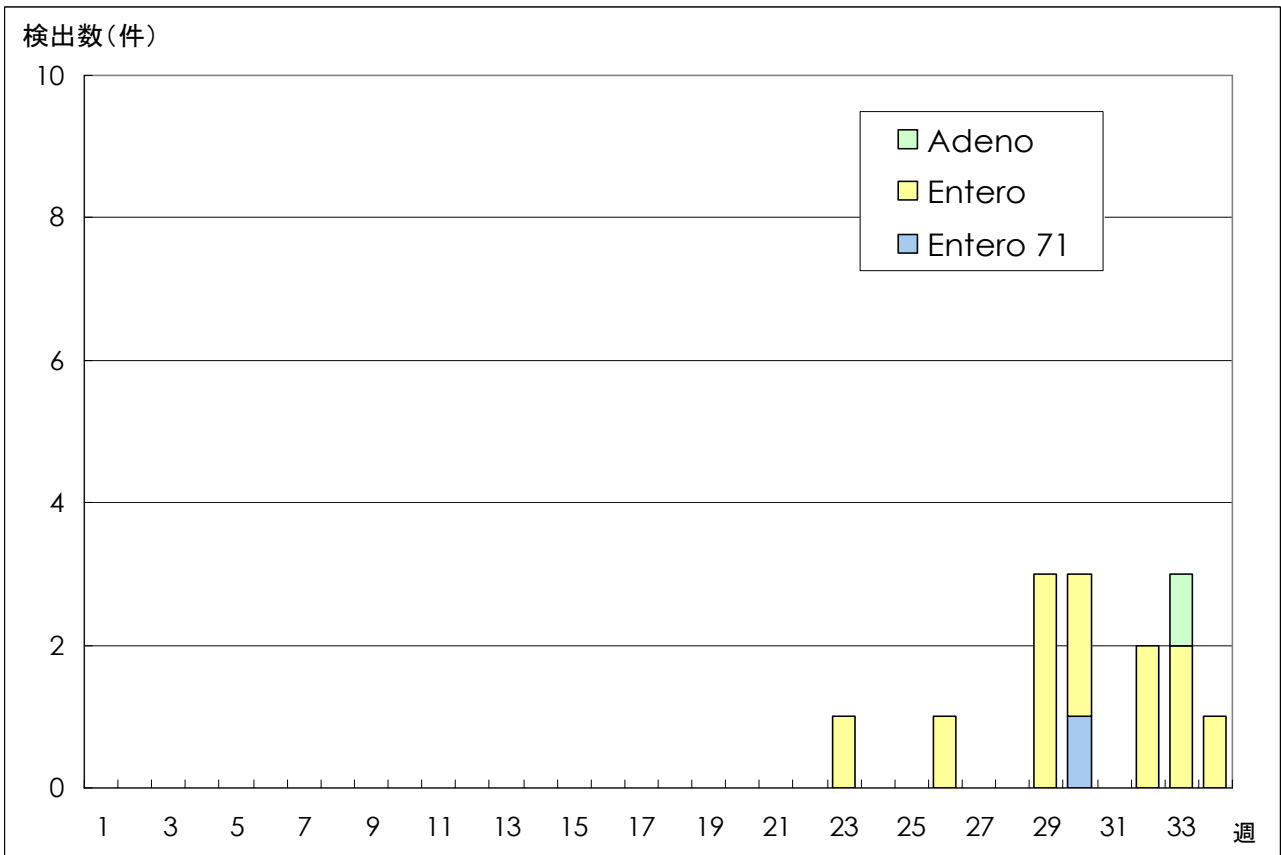
病原体グラフ（手足口病）

手足口病患者から検出されたウイルス（全国）



[LASR](#) 病原微生物検出情報（2003年8月26日現在報告数）

手足口病患者から検出されたウイルス（東京都）



微生物部ウイルス研究科

年齢階級別累計表 (2003年 34週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月				3	1	2	2	1	1		1					1	
～1歳				7	7	8		41			14	2				6	
1歳		6	1	22	17	54	1	21			44		2			1	
2歳		4	1	13	19	47		4			20		1			1	
3歳		4		10	9	27	3				20	1	2			2	
4歳		3	7	16	13	17	7				13		3				
5歳		1	5	14	5	14	2				10						
6歳		2	2	8	1	9	6				1	1	1				
7歳		1	5	9	1	4	1				2		1				
8歳		1	3	7	2	1	2						1		1		
9歳		1		1	1	2					1		1				
10～14歳		2	5	24	2	3					1		2			2	
15～19歳				6		2					1	1			1		
20～29歳		4	8	42	3	4				2	1	1	1		4	1	
30～39歳															9		
40～49歳															2		
50～59歳																	
60～69歳															2		
70～79歳															3		
80歳以上																	
合計	0	29	37	182	81	194	24	67	1	2	129	6	15	0	22	14	0
先週比	0	6	22	61	41	-3	12	21	1	1	-31	3	7	0	9	8	-2

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2003年 34週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田					2	5	3											10
中央区			2	7		14		5			1							29
みなと		6	4	3	2	2	1	2					1		2			23
新宿区			4	8		8	3	2			4	4			3	7		43
文京				1		5					4				6			16
台東		2																2
墨田区				2		1	1				2							6
江東区		1	3	11	4	16		1			5				3			44
品川区				7	4	7	1	5			4		1					29
目黒区		1	1	1	2	7	4	4			1							21
大田区		5		15	5	11	2	4			7				1			50
世田谷区		1	1	11		3		4			2		2					24
渋谷区		4	1	11		7	1	2		1	2		1					30
中野区				4	3	5		2	1		7		1					23
杉並				8		2		2			2		1					15
池袋					1						7		1		1			10
北区			1	3	3	14		7			12		1					41
荒川区				3	1	3				1	4	2			2			16
板橋区			2	3	2			1			6							14
練馬区			5	3	3	4		5			4							24
足立			1	3	5	3		1			3		2					18
葛飾			4	10	7	8	1	2			10					2		44
江戸川		1	2	22	5	19	3	2			5		2					61

保健所別累計表 (2003年 34週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川		2		4	2	6		1			6							21
秋川		1		2	8	3												14
八王子					5	1	1				5							12
南多摩				6		3					4							13
町田				10	2	6		1			4		1					24
多摩立川			1	1	6	2												10
村山大和			1	3	2	1	2	1			1		1			2		14
府中小金井				1		2					1							4
狛江調布					3	12		3			2							20
三鷹武蔵野				5	1	3		3							2			14
多摩小平		3	1	6	1	7	1	4			5							28
多摩東村山		1	3	8	2	4		3			2				2	3		28
島しょ		1									7							8

東京都合計	-	29	37	182	81	194	24	67	1	2	129	6	15	-	22	14	-	803
定点当り報告数	-	0.20	0.26	1.28	0.57	1.37	0.17	0.47	0.01	0.01	0.91	0.04	0.11	-	1.57	0.10	-	

保健所別累計表 (定点当り) 2003年 34週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田					0.50	1.25	0.75										
中央区			0.67	2.33		4.67		1.67			0.33						
みなと		1.00	0.67	0.50	0.33	0.33	0.17	0.33					0.17		2.00		
新宿区			0.67	1.33		1.33	0.50	0.33			0.67	0.67			1.50	1.17	
文京				0.33		1.67					1.33				6.00		
台東		0.67															
墨田区				0.67		0.33	0.33				0.67						
江東区		0.33	1.00	3.67	1.33	5.33		0.33			1.67				3.00		
品川区				1.17	0.67	1.17	0.17	0.83			0.67		0.17				
目黒区		0.33	0.33	0.33	0.67	2.33	1.33	1.33			0.33						
大田区		0.56		1.67	0.56	1.22	0.22	0.44			0.78				1.00		
世田谷区		0.13	0.13	1.38		0.38		0.50			0.25		0.25				
渋谷区		1.00	0.25	2.75		1.75	0.25	0.50		0.25	0.50		0.25				
中野区				0.67	0.50	0.83		0.33	0.17		1.17		0.17				
杉並				1.33		0.33		0.33			0.33		0.17				
池袋					0.20						1.40		0.20		1.00		
北区			0.25	0.75	0.75	3.50		1.75			3.00		0.25				
荒川区				1.50	0.50	1.50				0.50	2.00	1.00			2.00		
板橋区			0.33	0.50	0.33			0.17			1.00						
練馬区			1.00	0.60	0.60	0.80		1.00			0.80						
足立			0.25	0.75	1.25	0.75		0.25			0.75		0.50				
葛飾			1.00	2.50	1.75	2.00	0.25	0.50			2.50					0.50	
江戸川		0.25	0.50	5.50	1.25	4.75	0.75	0.50			1.25		0.50				

保健所別累計表 (定点当り) 2003年 34週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川		0.67		1.33	0.67	2.00		0.33			2.00						
秋川		0.50		1.00	4.00	1.50											
八王子					2.50	0.50	0.50				2.50						
南多摩				2.00		1.00					1.33						
町田				5.00	1.00	3.00		0.50			2.00		0.50				
多摩立川			0.25	0.25	1.50	0.50											
村山大和			0.50	1.50	1.00	0.50	1.00	0.50			0.50		0.50			1.00	
府中小金井				0.33		0.67					0.33						
狛江調布					1.00	4.00		1.00			0.67						
三鷹武蔵野				1.25	0.25	0.75		0.75							2.00		
多摩小平		1.00	0.33	2.00	0.33	2.33	0.33	1.33			1.67						
多摩東村山		0.33	1.00	2.67	0.67	1.33		1.00			0.67				2.00	1.00	
島しょ		1.00									7.00						

東京都合計	-	29	37	182	81	194	24	67	1	2	129	6	15	-	22	14	-
定点当り報告数	-	0.20	0.26	1.28	0.57	1.37	0.17	0.47	0.01	0.01	0.91	0.04	0.11	-	1.57	0.10	-

食 中 毒

東京都医師会感染症予防検討委員会

病原微生物が人体に侵入・定着・増殖することを「感染」と定義づければ、『感染した食品の摂取による健康障害』が食中毒の大部分を占める細菌性(含ウイルス)食中毒である。行政上は他に化学物質、自然毒を原因とするものがある。

細菌性食中毒はその発症機序から、感染侵入型、感染毒素(生体内毒素)型、毒素(生体外毒素)型に分類できる。は感染細菌が腸管組織に侵入し、菌自体の病原性により炎症をきたすものでサルモネラ属菌が代表的である。近年は雌鶏の卵巣に侵襲したS.Enteritidisの垂直感染による鶏卵を原因とする事例が多発している。は組織侵入による腸管症状に加えて、原因菌が生体内での増殖時に産生する種々の毒素により特異的な病態を発現する。O157に代表される腸管出血性大腸菌はVero(志賀)毒素を産生し、下痢、出血性大腸炎に続発して溶血性尿毒症症候群や脳炎、血栓性血小板減少性紫斑病を起こすことがある。また、腸炎ビブリオの溶血毒、心臓毒、カンピロバクターの細胞毒も知られている。は食品中で産生された毒素の摂取による場合で、黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌に代表される。

食中毒菌は、例外はあっても、ヒト-ヒト感染をしないという従来概念では、食品に菌を「つけない・増やさない・殺す」が対策であったが、2・3類感染症等感染性の強い病原体が「食中毒指定病原体」である現在、事例発生に際しては食品(物)のみならず患者・関係者(人)を含めて、食中毒と感染症の両面からの的確な判断と十分な対応が必要である。

(文責・吉川 泉)